

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館
指定管理者

平成29年度 事業実績報告書

公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団

目 次

◆ 文化事業実績	P 1
◆ 施設管理運営事業実績	P10
◆ 指定管理者自己評価（芸文）	P18
◆ 指定管理者自己評価（音文）	P24
◆ 委託契約（施設管理）	P26
◆ 委託契約（舞台技術）	P27
◆ 収支決算書	P28

文化事業実績

平成 26 年度からスタートした第 3 期指定管理期間の 4 年目として、文化事業では市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）と音楽文化会館の設置目的を実現するため、以下の基本方針に基づき、音楽・演劇・舞踊の各分野において 2 館の優れた特性を活用し、質の高い創造性あふれる芸術活動を展開するとともに、本市における将来の芸術文化活動を担う人材の育成に努めました。

また、新潟からの新たな質の高い舞台芸術作品を国内外に創造発信し、本市の芸術文化の振興を図りながら都市活力の向上に努めました。

1 新潟市民の文化活動への支援

新潟市や他の文化団体などとタイアップした共催事業の開催により、幅広い鑑賞機会の提供と市民の芸術文化活動への支援に取り組みました。

また、市民が芸術文化活動に参加し親しめる各種ワークショップや講座などの開催、芸術団体、芸術家と協力して学校や福祉施設等を訪問するアウトリーチ事業を実施し、本市の文化レベルの向上と芸術文化の普及に努め、文化のまちづくりに取り組みました。

2 地域に根ざした文化の創造

りゅーとぴあ専属ダンス・カンパニーNoism やりゅーとぴあ発の演劇レパトリー企画「物語の女たち」シリーズなどの新潟独自の舞台芸術を国内外に創造・発信しました。

舞踊事業では、Noism のメインカンパニーNoism1 が、春に「Liebestod-愛の死」を、秋には「NINA-物質化する生贄」ほかの作品を新潟市及びさいたま市で上演しました。研修生カンパニーNoism2 も夏、冬にそれぞれ新作を製作上演しました。

また、新潟市からの依頼公演として、「新潟国際ダンスフェスティバル NIDF2017」へ出演したほか、同事業の一環として、韓国と中国での公演も行いました。

演劇事業では、「物語の女たち」シリーズの新作 1 本と、りゅーとぴあプロデュース公演「エレクトラ」「星の王子さま」を製作、新潟公演に引き続き東京公演を実施しました。

さらに新潟独自の芸術文化の創造・発信活動を通して、他の劇場等との連携・協力関係の構築と舞台芸術を通じた国際交流を深め、地方の公立劇場としての拠点性を高めるとともに文化創造都市イメージの向上に努めました。

3 質の高い、専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供

新潟地域の拠点会館として、上質な専門施設を活用しながら、優れた舞台芸術の多様な鑑賞機会を提供し、豊かで彩りのある市民生活づくりに努めました。

音楽事業では、準フランチャイズ提携をしている東京交響楽団による年 6 回の新潟定期演奏会を柱としたオーケストラ演奏会や、ピアノ・リサイタルシリーズ、室内楽シリーズ、オルガンシリーズなどのシリーズ企画の他、気軽に演奏会を体験してもらう 1 コインコンサートなど多彩な演奏会を開催し、聴衆レベルの向上と幅広い層の聴衆の拡大を図りました。

演劇事業では、演劇部門芸術監督企画の公演や古町芸妓が総出演する「ふるまち新潟をどり」などのレパートリー的企画のほか、人気劇団による作品上演や小劇場系の演劇作品、伝統芸能など様々な舞台芸術の公演を開催し、賑わいと深みのある劇場空間の創造と観客の定着を目指しました。

能楽事業では、伝統様式の能舞台を活用し、観世流と宝生流による春と秋の「能楽鑑賞会」や野村万作・萬斎狂言公演などを開催し、日本の伝統芸能の普及に努めました。

4 文化を支える人材育成

幅広い年代と様々な舞台芸術のジャンルにおける人材育成を図り、文化の裾野の拡大に努めました。

音楽事業では、オーケストラ、合唱、邦楽の「ジュニア音楽教室」、演劇事業では、「演劇スタジオ・APRICOT」の活動を通して、本市の芸術文化活動を支えるジュニアの育成に努めました。また、提携オーケストラ東京交響楽団との共演を目的に活動している「にいがた東響コーラス」のレベル向上を目指しました。

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行いました。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図りました。

(1) 音楽事業

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、ホール・オペラ公演、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めました。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図りました。

① 鑑賞事業

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 101 回 平成 29 年 4 月 23 日(日) ～ホルスト：組曲「惑星」～

第 102 回 平成 29 年 9 月 24 日(日) ～ドヴォルザーク：交響曲第 9 番～

第 103 回 平成 29 年 10 月 29 日(日) ～R=コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」～

第 104 回 平成 29 年 12 月 3 日(日) ～ベートーヴェン：交響曲第 3 番～

第 105 回 平成 30 年 1 月 14 日(日) ～ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」～

第 106 回 平成 30 年 3 月 4 日(日) ～モーツァルト：歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲～

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5 回公演)

平成 29 年 10 月 31 日(火)・11 月 1 日(水)

・特割コンサート

平成 29 年 11 月 1 日(水)

・東響定期+α 茂木大輔オーケストラコンサート No.13 平成 29 年 10 月 8 日(日)

・東響定期+α ピアノシリーズ No.36 「萩原麻未」 平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

・東響定期+α 室内楽シリーズ No.32 「ダネル弦楽四重奏団」平成 29 年 9 月 28 日(木)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・ピアノシリーズ No.36 「萩原麻未」(再掲) 平成 29 年 11 月 23 日(木・祝)

ー室内楽シリーズー

・室内楽シリーズ No.32 「ダネル弦楽四重奏団」(再掲) 平成 29 年 9 月 28 日(木)

ーオルガンシリーズー

・山本真希リサイタルシリーズ No.23 平成 29 年 10 月 6 日(金)

・山本真希リサイタルシリーズ No.24 平成 30 年 3 月 21 日(水・祝)

・オルガン・クリスマスコンサート 2017 平成 29 年 12 月 2 日(土)

ーホール体験事業ー

・ 1 コインコンサート

Vol.88 「オルガン」	平成 29 年 4 月 13 日(木)
Vol.89 「ピアノ・トリオ」	平成 29 年 5 月 12 日(金)
Vol.90 「声楽／バリトン」	平成 29 年 6 月 7 日(水)音文
Vol.91 「ピアノ」	平成 29 年 7 月 20 日(木)音文
Vol.92 「弦楽三重奏」	平成 29 年 10 月 17 日(火)
Vol.93 「クラリネット」	平成 29 年 12 月 8 日(金)

ーその他ー

・ 加羽沢美濃ピアノ・リサイタル (LFJ 新潟 2017)	平成 29 年 4 月 29 日(土・祝)
・ 音文 40 周年記念連続リサイタル①前橋汀子	平成 29 年 7 月 21 日(金)音文
・ 音文 40 周年記念連続リサイタル②堤剛	平成 29 年 9 月 2 日(土)音文
・ ホールネットワークオペラ「トスカ」	平成 29 年 10 月 15 日(日)
・ オペラシアターこんにゃく座	平成 29 年 12 月 24 日(日)

② 育成・普及事業

ーオルガン事業ー

- ・ オルガン普及プログラム 工事休館のため、開催なし

ー市民参加合唱団ー

- ・ にいがた東響コーラス 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

ージュニア等育成事業ー

- ・ ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第 36 回演奏会 平成 29 年 9 月 17 日(日)
 - クリスマス演奏会 平成 29 年 12 月 23 日(土・祝)
- ・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第 31 回幹事会 平成 29 年 5 月 16 日(火)佐世保
- ・ ジュニア合唱団育成事業
 - 第 27 回定期演奏会 平成 29 年 7 月 23 日(日)県民会館
 - クリスマス演奏会 平成 29 年 12 月 17 日(日)音文
 - 第 40 回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 平成 29 年 8 月 20 日(日)見附
 - 第 5 回にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2018 平成 30 年 2 月 11 日(日)北区文化会館
- ・ ジュニア邦楽合奏教室育成事業
 - 和楽器体験講習会 平成 29 年 4 月 1 日(土)
 - 第 22 回定期演奏会 平成 29 年 7 月 30 日(日)音文
- ・ ジュニア音楽教室第 14 回スプリングコンサート 平成 30 年 3 月 31 日(土)

ーその他ー

- ・オペラ「トスカ」プレ講座 平成 29 年 9 月 15 日(金)
- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業
アウトリーチ登録アーティストジョイント・リサイタル
平成 30 年 3 月 24 日(土)秋葉区文化会館
アウトリーチ (市内小学校ほか)
平成 29 年 4 月 21 日(金)～平成 30 年 3 月 11 日(日)全 38 回
政令指定都市アウトリーチセミナー 平成 29 年 6 月 6 日(火)～8 月 23 日(水)
同セミナー付随 大学生アーツ・マネジメント研修
平成 29 年 8 月 18 日(金)～21 日(月)
- ・気軽に音ステージ 平成 29 年 6 月 4 日(日)音文
- ・おんぶん・リレーコンサート 平成 29 年 11 月 23～25 日(木～土)音文
- ・コンサートホール企画連絡会議 平成 29 年 7 月 26・27 日(水・木)札幌
平成 30 年 3 月 5・6 日(月・火)東京

(2) 演劇事業

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、公共の劇場や製作会社が製作した作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指しました。さらに「物語の女たちシリーズ」「りゅーとぴあプロデュース」の企画により新潟発のオリジナル作品を創造し、全国に向けて発信しました。また、育成事業では「演劇スタジオキッズ・コース APRICOT」を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、市内の公共ホールとも連携を組み、広く演劇に携わる人材の育成と演劇活動の振興を図りました。

① 鑑賞事業

- ・「フェードル」 1 回公演 平成 29 年 5 月 3 日(水)
- ・「第二十九回ふるまち新潟をどり」 2 回公演 平成 29 年 9 月 24 日(日)
- ・「謎の変奏曲」 1 回公演 平成 29 年 10 月 3 日(火)
- ・「ミッドナイト・イン・バリ」 1 回公演 平成 29 年 10 月 22 日(日)
- ・「笑った分だけ、怖くなる Vol.2」 1 回公演 平成 29 年 11 月 3 日(金)
- ・キャラメルボックス「光の帝国」 1 回公演 平成 29 年 11 月 5 日(日)
- ・ナイロン 100℃「ちょっと、まってください。」 1 回公演 平成 29 年 12 月 20 日(水)
- ・水都寄席「第 19 回 春風亭小朝独演会」 1 回公演 平成 29 年 12 月 23 日(土)
- ・「かがみのかなたはたなかになかに」 2 回公演 平成 30 年 1 月 7 日(日)～8 日(月)
- ・NE/ST 第 6 弾 ハイバイ「ヒッキー・ソトニデテミターノ」 2 回公演
平成 30 年 2 月 25 日(日)
- ・「シャンハイムーン」 1 回公演 平成 30 年 3 月 18 日(日)

② 育成・普及事業

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年(発表公演:夏季/アウトリーチ/春季)
APRICOT2017 夏季公演「小公女」 4 回公演
平成 29 年 8 月 11 日(金)～12 日(土) 新潟市北区文化会館
APRICOT2018 春季公演 スタジオトリアル公演「ハイジ」 6 回公演

平成 30 年 3 月 17 日(土)～20 日(火) スタジオ A

APRICOT アウトリーチ公演 平成 30 年 1 月 27 日(土)・28 日(日) 東区プラザ

APRICOT 演劇体験ワークショップ 2 回 平成 29 年 8 月 20 日(日)

平成 30 年 3 月 25 日(日)

・りゅーとぴあ・演劇ワークショップ (講師:岩井秀人)

2 回 平成 29 年 12 月 8 日(金)・9 日(土)

③ 新潟発創造事業

・物語の女たちシリーズ第 12 弾「大石内蔵助の妻 りく」 出演/佐久間良子

平成 29 年 10 月 9 日(月) 1 回公演 能楽堂

平成 29 年 10 月 14 日(土)・15 日(日) 2 回公演 あうるすぽっと

・物語の女たちシリーズ第 2 弾「燃えよ剣」(再演) ツアー公演 出演/十朱幸代

平成 29 年 9 月 29 日(金) 厚木公演

平成 29 年 10 月 28 日(土) 豊川公演

・りゅーとぴあプロデュース「エレクトラ」 出演/高畑充希、白石加代子 ほか

平成 29 年 4 月 14 日(金)～23 日(日) 12 回公演 世田谷パブリックシアター

平成 29 年 4 月 25 日(火)・26 日(水) 2 回公演 劇場

平成 29 年 4 月 29 日(土)・30 日(日) 2 回公演 兵庫県立芸文センター

平成 29 年 5 月 2 日(火) 1 回公演 相模女子大学グリーンホール

平成 29 年 5 月 6 日(土)・7 日(日) 2 回公演 水戸芸術館

・りゅーとぴあプロデュース「星の王子さま」出演/井上芳雄 ほか

平成 29 年 6 月 29 日(木) 1 回公演 音文・ホール

平成 29 年 8 月 8 日(火)・9 日(水) 4 回公演 東京芸術劇場

(3) 能楽事業

伝統様式に則った本格的な能舞台の舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催しました。また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図りました。

① 鑑賞事業

・「春の能楽鑑賞会」(観世流) 2 回公演 平成 29 年 4 月 16 日(日)

・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流) 2 回公演 平成 29 年 10 月 28 日(土)

・茂山狂言公演 1 回公演 平成 29 年 9 月 16 日(土)

・野村万作・萬斎狂言公演 2 回公演 平成 29 年 11 月 11 日(土)

・馬場あき子特選能楽鑑賞会 1 回公演 平成 29 年 12 月 10 日(日)

② 育成・普及事業

・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く能の楽しみ」 年 3 回 平成 29 年 4 月 22 日(土)

平成 29 年 11 月 25 日(土)

平成 30 年 2 月 17 日(土)

・観世流能楽鑑賞教室 (観世文庫共催)

平成 29 年 11 月 18 日(土)

- 「舞の習い」 8回 平成29年9月27日(水)～11月17日(金)
- ・秋能プレ講座 平成29年10月7日(土)
- ・能楽体験教室 [謡] (学校訪問) 3回 平成29年6月22日(木)
平成30年1月22日(月)
- ・能楽ワークショップ [囃子] (能楽堂・市内小中学校) 平成29年6月7日(水)・8日(木)
- ・能楽ワークショップ [狂言] (能楽堂・市内小中学校) 平成30年2月27日(火)・28日(水)
- ・「さわってみよう能の世界」 1回 平成30年1月20日(土)

(4) 舞踊事業

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismの活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図りました。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育みました。また、新潟市などとの協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び国内における拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上に努めました。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとびあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業
(公演事業)
- ・Noism1 『Liebestod—愛の死』 / 『Painted Desert』
新潟公演 りゅーとびあ・劇場 3回公演 平成29年5月26日(金)～28日(日)
埼玉公演 彩の国さいたま芸術劇場 3回公演 平成29年6月2日(金)～4日(日)
- ・Noism1 『Painted Desert』
富山公演 高周波文化ホール 1回公演 平成29年8月11日(金・祝)
- ・Noism1 『NINA-物質化する生け贄』 / 『The Dream of the Swan』
新潟公演 りゅーとびあ・劇場 3回公演 平成29年12月15日(金)～17日(日)
埼玉公演 彩の国さいたま芸術劇場 2回公演 平成30年2月17日(土)～18日(日)
- ・Noism2 特別公演『よるのち』
新潟県政記念館(旧新潟県会議事堂) 5回公演 平成29年6月23日(金)～25日(日)
- ・Noism2 定期公演『私を泣かせてください』 / 『金森穰振付 Noism レパートリー』
りゅーとびあ・スタジオB 4回公演 平成30年1月26日(金)～28日(日)
- (その他受託事業)
- ・Noism1 近代童話劇シリーズ Vol.2 『マッチ売りの話』『passacaglia』 ルーマニア公演
主催：国際交流基金
ラドゥ・スタンカ国立劇場 平成29年4月5日(水)・6日(木)
- ・Noism1 レオナルド・フジタとモデルたち展 特別パフォーマンス『DoGoD』
主催：新潟県立万代島美術館、NST、レオナルド・フジタとモデルたち新潟展実行委員会
新潟県立万代島美術館 平成29年8月13日(日)
- ・Noism1 開港5都市景観まちづくり会議2017新潟大会 特別パフォーマンス『碎波』
主催：開港5都市景観まちづくり会議2017新潟大会 実行委員会

(新潟市都市政策部まちづくり推進課内)

- 新潟日報メディアシップ〈日報ホール〉 平成 29 年 9 月 1 日(金)
- ・ Noism1×みなとぴあプロジェクションマッピング『砕波』
主催：新潟市（文化政策課）
新潟市歴史博物館 みなとぴあ（野外） 平成 29 年 9 月 15 日(金)
 - ・ Noism2 学校出前公演「火の鳥」（新潟市踊り文化推進事業）
新潟市立曾野木中学校 平成 29 年 9 月 20 日(水)
新潟市立小新中学校 平成 29 年 9 月 21 日(木)
 - ・ Noism1 「NINA-物質化する生け贄」韓国公演
主催：Daegu Metropolitan City, Daegu Arts Center
Daegu Arts Center (Palgonghall) 平成 29 年 10 月 22 日(日)
 - ・ Noism1 「NINA-物質化する生け贄」中国公演
主催：中国 BeSeTo 委員会
Zhejiang Concert Hall 平成 29 年 11 月 8 日(水)・9 日(木)
 - ・ Noism1 「NINA-物質化する生け贄」中国公演
主催：香港城市当代舞蹈团有限公司
Kwai Tsing Theatre 平成 29 年 11 月 24 日(金)

② 普及事業

- ・「柳都会」第 17 回 廣川玉枝×金森穰 りゅーとぴあ・能楽堂 平成 29 年 12 月 3 日(日)
- ・「柳都会」第 18 回 茂木健一郎×金森穰 りゅーとぴあ・能楽堂 平成 30 年 2 月 4 日(日)
- ・ Noism レポートリーワークショップ
彩の国さいたま芸術劇場〈地下 2 階 大練習室〉 平成 30 年 1 月 17 日(水)
- ・ Noism ワンデイスクール事業（新潟市踊り文化推進事業）
りゅーとぴあ・スタジオ B 平成 30 年 3 月 11 日(日)

(5) 共催事業

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行いました。

また、4 月 28 日～30 日に開催されたクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2017」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ、合わせて広範な集客を図りました。

- ・ラ・フォル・ジュルネ新潟 2017 平成 29 年 4 月 28 日(金)～4 月 30 日(日)
- ・小野リサ ボサノバコンサート 平成 29 年 9 月 18 日(月・祝)
- ・辻井伸行&ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団 平成 29 年 10 月 9 日(月・祝)
- ・ロシア国立交響楽団 平成 29 年 11 月 12 日(日)
- ・キエフ国立交響楽団 平成 29 年 12 月 23 日(土)
- ・第 65 回新潟市芸能まつり 平成 29 年 9 月～12 月音文ほか
- ・「第 14 回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 平成 30 年 1 月 14 日(日)
- ・近藤誠一トークシリーズ「訊く」第 5 回 平成 29 年 11 月 15 日(水)
- ・七代目 市山七十郎 襲名披露「市山会」 平成 30 年 2 月 17 日(土)

(6) 広報営業事業

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図りました。

なお、平成 27 年度から指定管理を受託した新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるための広報を展開しました。

- ・ 広報・営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業

(7) 調査研究諸費

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めました。

(8) 事業企画諸費

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信しました。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト
- ・ 演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めました。

施設管理運営事業実績

運営に関する基本的な考え方

○市民芸術文化会館・音楽文化会館共通

施設の管理については、次の3点を基本的な考え方としながら、会館の機能を最大限に維持すること、衛生的で品位のある施設を維持することに努めました。

- 1 限られた予算の中で設備の故障リスクを最小限に抑えるために、メンテナンス方法を予防保全と事後保全に分け、効率的な維持管理を行ないます。

※ 予防保全 : 故障が発生しないように行なうメンテナンス方法（日常点検・定期点検、部品の寿命を考慮した部品交換）

※ 事後保全 : 設備が故障してから修理を行なう方法

- 2 建物の衛生的環境を維持するため、法令に従い必要な測定・調査・清掃を行い、安心・安全な施設を維持します。

- 3 管理業務の一層の効率化により、最小の経費で最大の効果を図ります。

① 委託業務のさらなる仕様見直し

② 市民芸術文化会館と音楽文化会館の管理の一元化（継続実施）

・警備、検査、設備点検、植栽業務の統合管理（継続実施）

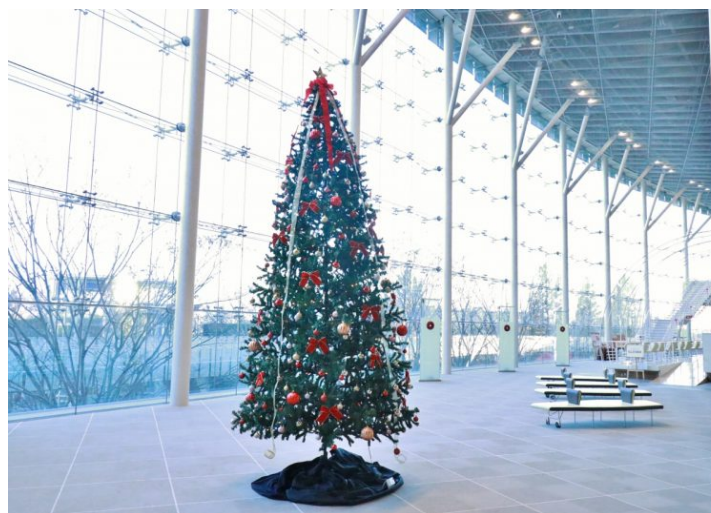
○市民芸術文化会館

ホール等の運営については、ショップで扱うグッズやインフォメーションの充実を図るとともに、レストラン・ビュッフェ、展望ラウンジなど多様な飲食コーナーを配置して、来館者の皆さまが快適に過ごしていただけるように努めました。

平成29年5月から全館休館し、新潟市の発注により設備関係を中心とした改修工事が行なわれました。工事中の利用者の皆様の安全について万全の対応を図るとともに、きめ細かい点検を効率的に実施し、施設機能の保全を図りました。

また、11月～12月には、2階共通ロビーに、職員が手づくりでクリスマスの飾りつけを行なうなど、心のこもったサービスを提供しました。

ク
リ
ス
マ
ス
の
飾
り
つ
け



また昨年に引き続き、市民の方々に施設に触れる機会を提供し、身近に感じていただくために、バックステージツアーを企画しました。

年 度	回 数	参加者数
H29	3企画・6回	224人
H28	3企画・6回	110人

○音楽文化会館

引き続き、市民にステージの雰囲気味わっていただく体験イベント「気軽に音ステージ」と「リレーコンサート」を企画し、多くの参加を得ました。

年 度	気軽に音ステージ		リレーコンサート	
	出演者数	楽器体験者数	出演者数	観 客 数
H29	61人	190人	284人	854人
H28	71人	414人	304人	766人

事業内容

1 貸館事業

○市民芸術文化会館

[計画の目標値との比較] () 内：稼働日数

	稼働率			入場者数(人)		
	目標値	実績	差引	目標値	実績	差引
コンサート	89.0%	85.2%	▲3.8%	237,000	257,654	20,654
ホール	(144日)	(138日)	(▲6日)			
劇場	78.0%	77.3%	▲0.7%	歳入(千円)		
	(151日)	(150日)	(▲1日)	目標値	実績	差引
能楽堂	47.0%	38.6%	▲8.4%	48,300	47,504	▲796
	(110日)	(90日)	(▲20日)			

[平成28年度実績との比較]

	稼働率			入場者数(人)		
	H28	H29	差引	H28	H29	差引
コンサート	87.2%	85.2%	▲2.0%	323,780	257,654	▲66,126
ホール	(246日)	(138日)	(▲108日)			
劇場	80.6%	77.3%	▲3.3%	歳入(千円)		
	(187日)	(150日)	(▲37日)	H28	H29	差引
能楽堂	35.1%	38.6%	3.5%	53,878	47,504	▲6,374
	(111日)	(90日)	(▲21日)			

[分析]

① コンサートホール

ラ・フォル・ジュルネや東京交響楽団の定期演奏会、1コインコンサートなどの人気シリーズの公演のほか、自主事業を積極的に展開しました。改修工事の影響で利用可能日数は前年度の6割以下となり、例年どおりの公演日程が確保できない影響などもあり稼働率は昨年より下がりました。今後、引き続き利用の促進に努めます。

② 劇場

平成29年5月から改修工事で全館休館したことの影響などから貸館の利用が減少し、稼働率は前年度を下回りました。平成30年度は改修工事が継続しますが、引き続き利用の促進に努めます。

③ 能楽堂

改修工事による全館休館の影響もあり自主事業、貸館ともに利用日数は昨年度より大きく減少しましたが、利用可能日数が昨年より大幅に減ったため、稼働率は昨年より上がりました。引き続き利用の促進に努めます。

④ 入場者数

3ヶ月に及ぶ全館休館を伴う改修工事の影響もあり、前年度と比較すると各ホールで減少しました。一定の入場者数を見込める自主事業に比較して、貸館事業の入場者数の減少が大きく、前年度に比べ全体で約6万6千百人の減少となりました。

⑤ 歳入

3ヶ月に及ぶ改修工事による全館休館の影響が大きく、前年度と比べ大きく減少しました。30年度は引き続き部分休館を伴う改修工事が予定されているため、例年に比べ使用料金の減少が予想されますが、引き続き利用の促進に努めます。

○音楽文化会館

[計画の目標値との比較] () 内：稼働日数

	稼働率		
	目標値	実績	差引
ホール	74.0%	76.8%	2.8%
	(211日)	(218日)	(7日)

入場者数(人)		
目標値	実績	差引
178,000	165,108	▲12,892
歳入(千円)		
目標値	実績	差引
34,600	29,384	▲5,216

[平成28年度実績との比較]

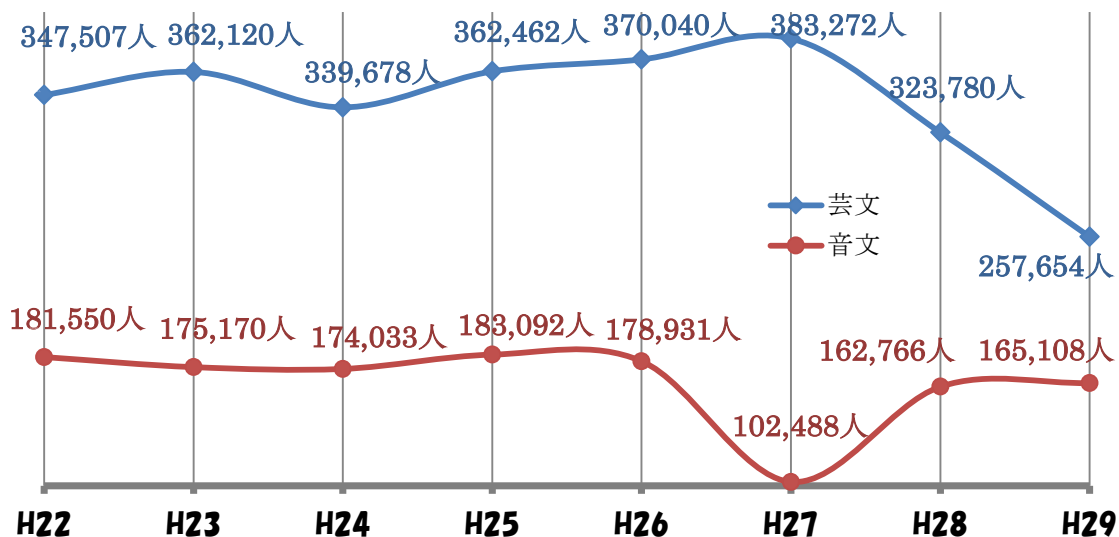
	稼働率		
	H28	H29	差引
ホール	65.8%	76.8%	11.0%
	(196日)	(218日)	(22日)

入場者数(人)		
H28	H29	差引
162,766	165,108	2,342
歳入(千円)		
H28	H29	差引
29,253	29,384	131

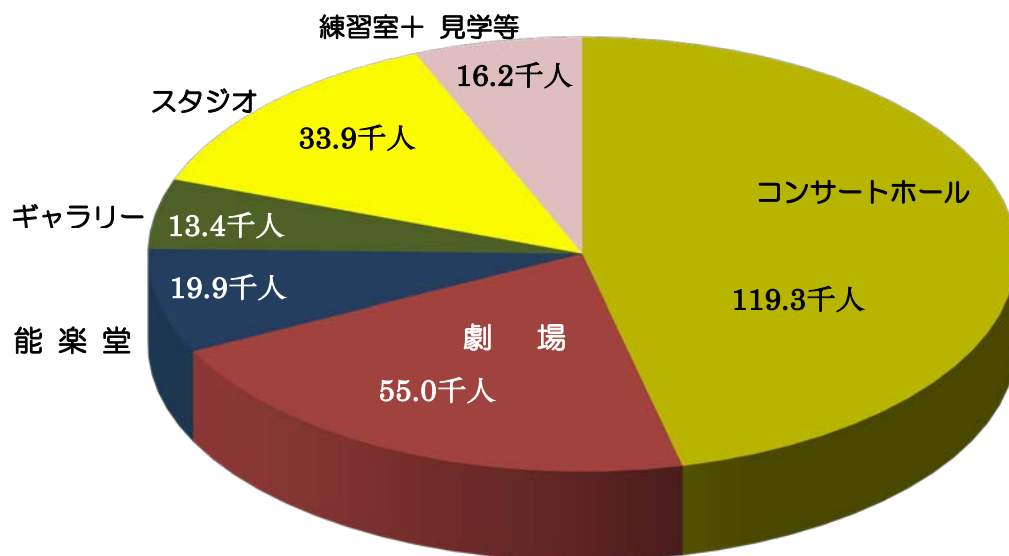
[分析]

全 般：平成27年度の耐震工事の影響も落ち着き、施設稼働率は平成26年度以降で最大となり目標を達成しました。入場者数・歳入は目標を達成できなかったものの、昨年度より増となりました。高齢化に伴う定期利用団体の解散や縮小などがある一方で、新規登録団体の獲得事例もありました。引き続き利用の促進に努めます。

【参考】 入館者数の推移



平成 29 年度 芸術文化会館入館者内訳



2 貸館利用受付時間

公平性を遵守しながらも、市民サービスを基本に考えて、柔軟な対応を図りました。

○市民芸術文化会館：土日を含む毎日 9：30～18：00（休館日を除く）

○音楽文化会館： 土日を含む毎日 9：00～17：00（休館日を除く）

3 登録レセプションニストの配置

登録レセプションニストの配置については、公演の円滑な進行とお客さまの快適性、そして効率性に配慮しながら運営しました。

また、外部講師による研修や職場内研修を実施し、スキルアップを図ることなどにより主催者・鑑賞者双方から、接客の姿勢について高い評価をいただいております。

- ・業務：客席案内、クローク業務、ビュッフェ業務、チケット確認等
- ・研修：外部講師による基礎・専門研修、危機管理研修・訓練等

	レセ登録数	稼働数	延べ稼働人員
H 2 9	40 人	196 公演	2,971 人
H 2 8	45 人	278 公演	4,453 人

4 舞台技術スタッフによるサービス

○市民芸術文化会館

- ・公演時に求められる高度な演出を実現するため、会館の舞台技術スタッフが仕込み段階から主催者をサポートしています。

設備の操作については、危険度の高い舞台機構は当館の技術スタッフがすべて行い、音響・照明設備は主催者側スタッフ（市民、外部専門スタッフ）に技術指導（一部補助操作）を行なうなど、サービスの向上に努めました。

なお、安全第一の舞台運用と演出ノウハウの支援・指導については、主催者及び関係スタッフから大きな信頼と好評をいただいております。

- ・新潟発創造事業、育成事業に積極的に参加し、創作活動と遠征公演での経験が、舞台技術の大きな蓄積と職員のスキルアップに役立っています。

○音楽文化会館

昨年に引き続き、ホール等に会館の舞台技術スタッフを配置し、準備作業や本番の操作をアドバイスすることで、市民の舞台づくりを支援しました。

5 飲食サービスの提供

○市民芸術文化会館

・3階レストラン「リバージュ」は、定番メニューに加え特別メニューを用意し、来館した多くのお客様に飲食サービスを提供しました。

クリスマスシーズンに特別メニューを用意するなど、工夫を凝らしたサービスで利用者から好評をいただきました。

2階「セーリングカフェ」は、公演前のお客様に向けた軽い食事や喫茶メニューを用意しております。

・6階展望ラウンジでは、「旬彩 柳葉亭」が、旬の食材を用いたお料理や飽きの来ないメニューを提供し、年代にかかわらず幅広い客層から、気軽に利用できるとご支持をいただいております。

・コンサートホール、劇場及び能楽堂の「ビュッフェ」を年間143公演で営業（直営）し、開演前や休憩時のドリンク、サンドイッチなどのサービス提供に努めました。

○音楽文化会館

平成22年度より、2階の喫茶レストラン「Kitchen&Café コル」が営業を開始し、ランチや喫茶メニューを提供しています。

また館内では、各階に飲料用の自動販売機を設置して、引き続き来館者へのサービス提供を図りました。

6 インフォメーションセンター、ショップの設置

○市民芸術文化会館

インフォメーションセンターでは、白山公園一帯の情報提供、館内の様々な問い合わせへの対応、自主事業や貸館公演チケットの販売、さらにはショップの営業（主に受託販売）など、幅広いサービスの提供に努めました。

貸館公演のチケット販売については、年間で94件の依頼を受け、受託枚数5,620枚に対して、3,148枚を販売しました。

ショップでは、音楽や演劇などに関連した魅力あるグッズを提供し、会館のイメージアップに寄与しています。

○音楽文化会館

事務室で貸館公演チケットの販売を行い、年間32件の依頼を受け、受託枚数1,255枚に対して320枚を販売しました。

自己評価

別紙のとおり

「指定管理者自己評価（H29年度）」（芸文・音文）

再委託実績

別紙のとおり

「平成 29 年度 委託契約（施設管理）」

「平成 29 年度 委託契約（舞台技術）」

収支決算

別紙のとおり

「新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 収支決算書」

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

★ H29は改修休館有りに付、評価指標見直し

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト		
市 民	1	基準稼働率の達成	3ホールの稼働率	コンサートホール	89.0%以上	85.2%	C	すべてのホールで目標稼働率を下回った。 (達成率 CH:95.7% 劇場:99.1%) 【参考】H28年度評価 ・コンサートホール C(87.2%) ・劇場 A(80.6%) ・能楽堂 C(35.1%)	
	2			劇場	78.0%以上	77.3%	C		
	3			能楽堂	47.0%以上	38.6%	C		
	4	基準利用者数の達成	施設別利用者数 + 視察・見学者・LFJ交流S	年間人数	237,000人以上 ★	257,654人	A	目標を約2万人上回った、	
	5	文化事業年間鑑賞者数	自主事業の年間入場者・参加者数	年間人数	104,000人以上 ★	109,576人	A	自主公演を積極的に実施し、目標を上まわった。	
	6	貸館利用者に対するサービスの提供	地域創造ユニット(B-1-④)	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。			A	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、舞台装置の操作助言を行うなど、利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。	
	7	貸館利用者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。	
	8	貸館利用者（主催者）満足度	アンケートによる満足度調査	満足度	90%以上	99.1%	A		
	9	文化事業公演年間公演回数		自主事業年間公演回数	102公演以上 ★	292公演	A	自主公演を積極的に実施し、目標を上まわった。	
	10	文化事業公演鑑賞者の意見やニーズを聴取する仕組みの有無		実施していること			A	すべての公演でアンケートを実施し、回収結果を整理のうえ事業担当者、管理職が情報共有している。	
	11	文化事業公演等の鑑賞者の満足度	アンケートによる満足度調査	創造系作品鑑賞者の満足度	90%以上	97.9%	A	観客に満足いただける事業を展開できた。	
	12			鑑賞系公演鑑賞者の満足度	90%以上	97.2%	A	//	
	13			普及系公演鑑賞者の満足度	90%以上	100.0%	A	//	
	14			育成系公演鑑賞者の満足度	90%以上	99.7%	A	//	
	15	ワークショップ回数・アウトリーチ回数		育成系事業で年間	48回以上	82回	A	東響学校訪問：60回、ジュニア3教室：18回 APRICOT：4回、オルガン0回	
	16			普及系事業で年間	17回以上	52回	A	Noism：5回、音楽アウトリーチ：47回	
	17	育成系事業の参加者数	年度末時点での団員数	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	130人以上 90人以上 30人以上 50人以上	ジュニアオーケストラ ジュニアコーラス ジュニア邦楽 アプリコット	104人 129人 36人 54人	B	目標達成&H28年度実績を上回ったもの → コーラス、邦楽、アプリコット 目標未達（H28年度実績を上回った） → ジュニアオーケストラ
	18	創造系事業の実施		年間公演回数	27回以上	42回	A	プロデュース演劇公演：22回 Noism：20回 → H21-24年度平均より	
	19	創造系事業市外公演回数		年間公演回数	17回以上	23回	A	プロデュース演劇公演：18回 Noism：5回 → H21-24年度平均より	

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

★ H29は改修休館有りに付、評価指標見直し

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
市 民	20	公演や催し物情報の情報発信		下記の取組をしているか。 ①ホームページ、②メールマガジン、③テレビ・ラジオ、④新聞、⑤雑誌、⑥機関紙	①～⑥ すべて取組あり	A		
	21	地域アピールに関する取組み		活動と成果を、地域内外に積極的に広報しているか。	アプリコット 北区公演 他 演劇事業（新潟発創造） Noism 東京公演 他 埼玉公演 他	A	新潟市民芸術文化会館外での公演を積極的に実施した。	
	22	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数	年間掲載数	130件以上 ★	139件	B	新潟発創造事業、全国共同制作オペラ等を重点的に情報発信するなど、効果的に活用した。
	23	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-⑥）	下記の取組をしているか。 ①会員先行予約・優先予約制度、②チケット購入者への駐車場割引、③チケット割引制度、④セット券の販売、⑤カード決済⑥会員への機関紙の送付	①～⑥ すべて取組あり	A		
	24	会館会員数の確保	年度末時点での会員数	会員数	5,400人以上	5,051人	C	少子高齢化による減少傾向に歯止めがかけられなかった。
	25	ホスピタリティに関する取組み	地域創造ユニット（B-2-③）	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底するとともに、利用者側に立ったサービスの提供をしているか。	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。 ②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。 ③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。 ④利用者の意見を収集している。 ⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。	A	貸館についてはホスピタリティやサービスを徹底し、主催者から高い評価を得ている。 今後、PRの一層の強化や広くコンベンションなどの誘致も図りたい。	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	（事業収入＋文化庁補助金等）／事業費	自主財源比率	60%以上	72.6%	A	自主財源確保に努め、目標を大幅に上回った。
	2	文化事業収入拡大に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-②）	事業担当者が、必要に応じて営業活動を行い、事業収入の拡大に取り組んでいるか。	事業担当者和び営業の担当者が、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A		
	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取組み	地域創造ユニット（C-3-①）	外部資金の必要性を検討し、必要に応じて情報収集を行い、都度外部資金の獲得に取り組んでいるか。	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行い、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	文化庁への申請・協賛企業まわり・個人協賛の募集等をおこなった。	
	4	経費の削減		指定管理料（管理経費）・事業費補助を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	指定管理料 597,085,220円 事業補助金 145,374,510円	A	選択と集中、事務効率化の徹底をおこなった。 ※ 事業補助金は交付決定額の約80%	
	5	市の歳入の増加		施設使用料収入	48,300千円以上 ★	47,504千円	C	H30年度のコンサートホール改修期間が予定より長くなり貸出（予約）可能な日数が減。また同ホール改修の騒音が劇場等にも漏れる可能性を周知した結果、施設予約（使用料収入）が低調だった（目標達成率98.4%）。

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全		長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	長期修繕計画がある	B	H28～H30年度は、市発注で大改修を行う。
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立		連絡体制の確立	消防訓練、防災訓練を実施している。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	H27年度～2種類の緊急連絡網を整備 ・管理職 → 一般職員へ情報が流れるもの ・現場（一般職員） → 管理職へ情報が流れるもの
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ		AEDの使用法の周知徹底	AEDの操作訓練を実施している	B	
	4	日常連絡の適切さ		月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ		事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ		改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針・事業目標の位置づけ		自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	A	・指定管理者業務計画書 ・同 報告書 ・本自己評価
	8	運営方針、事業目標の市民への公開		運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無		自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立っているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている。	A	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無		市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを実施しており、運営方針を踏まえながら、経費の節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無		実施していること	財団内に個人情報保護規定があり、研修が実施されている。	B	コンプライアンス研修に内包して実施
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守		コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	H29年2月8・9日実施
	13	守秘義務の徹底		守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	他の公立館との共同・連携企画の有無・回数		共同・連携公演の企画が年間3つ以上	12企画	A	文化庁ネットワーク構築支援事業など

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の配置, 育成	地域創造ユニット (C-1-③)	館の各業務に必要な専門的知識や技能, 経験, 資格等を備えた職員を配置すること	専属の芸術監督やオルガニストを配置している。また, 音楽・演劇・舞踊などの各分野において専門家からの指導・助言を受けているほか, 外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	研修会参加実績 (一部抜粋) 【舞台技術】 ・公立劇場舞台技術者連絡会 技術研修会 ・神奈川芸術劇場への長期研修派遣 (改修休館期間) 【アートマネジメント】 ・スタージラボ高知セッション ・全国劇場、音楽堂等アートマネジメント研修会
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	地域創造ユニット (C-1-④)	内部研修を行い, 必要に応じ, 外部研修を利用しているか。	組織内部での研修実施や, 外部研修にも積極的に参加するほか, 自主企画事業の実施を通じ, スキルアップを図っている。	A	【内部研修】 ・コンプライアンス研修 (2/8~9) 【外部研修】 ・レセプションист研修 (6/9) ・盲人誘導研修 (10/17) ・インフォメーション研修 (2/26)
	3	労働基準の充足		労働基準違反に該当する問題がないこと	36協定違反があった。 (時間外労働の協定上限超過)	C	今後は, 協定上限を超過するものがなくなるよう業務の効率化を図る。

1. 評価指数が数値である項目は, 以下の3段階で評価。

- A 要求水準 (=評価指標) を達成し, かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準 (=評価指標) が達成されている。
- C 要求水準 (=評価指標) が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については, (一財)地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

★ H29は改修休館有りに付、評価指標見直し

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト	
文化の振興	1	共催事業公演数		共催公演数 80回 ★	88回	B	ラ・フォル・ジュルネ（56公演）、新潟市芸術まつり（25公演）が大きなウェイトを占める	
新潟市の 地域活性化	1	市報への記事掲載回数		掲載回数 32回 ★	39回	A	情報発信のために効果的に活用した。	
	2	雑誌への記事掲載回数		掲載回数 161回 ★	171回	B	新潟発創造事業、全国共同制作オペラ等を重点的に情報発信するなど、効果的に活用した。	
	3	新聞広告		出稿回数 27回 ★	19回	C	情報発信のために効果的に活用した	
	4	TV告知スポット		回数 21本 ★	20本	C	TV局各社と共催することで、効果的に告知スポットを放送した。	
	5	ラジオ広告		回数 117本 ★	196本	A	情報発信のために公演出演者や職員が出演するなどし、効果的に活用した。	
	6	雑誌広告		回数 14本 ★	34本	A	地元誌を中心に全国誌にも情報を掲載し、効果的に活用した。	
	7	りゅーとびあマガジン		年間発行回数 4回	4回	B	情報発信のために効果的に活用した	
	8	イベントガイド		月間発行回数 1回	1回	B	改修による全館休館期間中は発行なし	
	9	会館ホームページ		更新回数 随 時	随 時	A	H28にリニューアルを行い、スマホ等にも対応可とし、チケット販売サイトもスマホ対応化。	
	10	りゅーとびあカレンダー		年間発行回数 4回	4回	B	情報発信のために効果的に活用した	
	11	メールマガジン		月間制作数 4回	1～4回	C	//	
	12	パートナーショップ		加盟店数 40店	48店	A	閉店等により昨年度より減少したが、目標を上回った。	
効率的な 会館運営	1	登録レセプションニストの配置	登録レセプションニストの体制継続	50人体制	40人	C	非常勤、短時間勤務、低い時給のため新規採用への応募者が少なく、体制を整えられなかった。	
	2	バックステージツアー		年間開催回数 6回	6回	B		
	3	安全・リスク管理の対応度	訓練の実施回数	防火訓練	2回	2回	B	法令に従い、訓練を実施
				防災訓練	1回	2回	A	//
	4	清掃・館内美化への対応度	地域創造ユニット（B-3-③）	観客や住民が、安全に安心して利用できる施設環境と運営体制を整えているか。	清掃会社と共同で、施設の特性に応じた清掃の基準を作成し、実施状況を定期的に点検し、必要な場合は基準の見直しをおこなうとともに、館内の掲示物や備品のデザインや設置状況を含めた総合的なアメニティの向上を図っている。	A	法令の基準に従い、衛生管理を実施した。	
5	施設・設備の保守点検度	公演に支障をきたす設備故障件数	故障件数	0件	0件	B	法定点検のほか、自主的な点検もおこなった。	
		施設管理業務中の労働災害件数	災害件数	0件	0件	B		

H29年度 新潟市民芸術文化会館 指定管理者自己評価（指定管理者独自の項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
効 率 的 な 会 館 運 営	6	関係法令の遵守		財団情報の公開 随時対応	公開請求なし	A	
	7	一人あたりの経費	総支出額 ÷ 年間利用者数	金額 3,300円以下 → H21-24年度平均より	3,927円	C	改修に伴う全館休館があったため、年間利用者数が減少し、評価指標を達成できなかった。H30年度も部分休館があるため、指標を見直す。 ※ 年間利用者数に、新潟発創造事業の東京公演等の観覧者を加算し算出。

1. 評価指数が数値である項目は、以下の3段階で評価。

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。

2. 数値で表しにくい項目については、（一財）地域創造作成の「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略評価ユニットを基に以下のとおり4段階で評価する。

- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
- ロ ステップアップが望まれる。 → B
- ハ 見直しが必要である。 → C
- ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

総 合 評 価 （ 所 見 ）

自主事業については、改修に伴う全館休館（5月末～9月初旬）の影響もあり、鑑賞者数・公演回数は昨年度を下回ったが、目標は達成した。自主財源率は、昨年度を上回ったうえ目標を達成している。

※ H28年度比 鑑賞者数：21,568人減 公演回数：56公演減 自主財源比率：3.0%増

文化事業公演等の鑑賞者の満足度は、昨年度に引き続き高い数値を残すことができ、十分に目標を達成しているが、更にお客様に満足して頂ける内容とすべく、工夫を続ける。

育成系、普及系事業のワークショップ・アウトリーチ回数についても十分に目標を達成したうえ、昨年度を上回った。普及系の増加が大きいのは、音楽アウトリーチ事業の訪問先を1年ごとに「福祉施設・病院等中心」「学校中心」としており、後者の方が需要が高いため。

※ H28年度比 育成系：9回増 普及系：15回増

施設管理の面では、改修に伴う全館休館の影響で年間の利用者数が昨年度より約6.6万人減少したが、目標を達成した。貸館の使用料はコンサートホールの改修期間延長の影響もあり約630万円減少、3ホールの稼働率も低迷し目標を達成できなかった。H30年度もコンサートホールを中心に改修が行われるが、この影響も踏まえて適切な目標を設定したい。

音楽文化会館 指定管理者自己評価（H29年度）

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	年間利用者数178,000人以上	165,108人	C	<p>年間利用者数については目標をわずかに達成できなかった。芸文工事にかかる停電・制御システム切替に伴う臨時休館が14日間あったことと、大雪・大寒波による使用中止などの影響が考えられる。ホール稼働率については目標を達成できた。</p> <p>今後も、PRの強化や運用面の改善などを図り利用の増加に努めたい。</p> <p>満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。</p>
	基準稼働率の達成	ホール稼働率 74.0%以上	76.8%	A	
	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	99.7%	A	
	貸館利用者の意見やニーズを聴取するしぐみの有無	実施していること	利用報告書に満足度調査とアンケートにより意見・ニーズの把握。	A	
	貸館利用者に対するサービスの提供	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-1-④）	受付担当者が、規定にのっとり対応している。舞台利用者には技術担当者も利用者の希望を聞き、満足度を意識したサービスが行われている。	B	
市民	ホスピタリティに関する取り組み	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. B-2-③）	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。③ホームページやチラシに館でのアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。④館内の案内表示や利用案内を利用者にわかりやすく工夫している。	A	
	公演や催物情報の情報発信	会館ホームページ（随時更新）	HPのリニューアルを実施。チラシ画像の添付を可能とし、質と見やすさを向上させた。	A	
	経費の削減	指定管理料（管理経費・事業費補助）を年度協定額及び交付決定額以下	予算 128,400千円 決算 128,399千円	A	
財務	市の歳入の増加	使用料収入 34,600千円以上	29,384千円	C	<p>会館の予算については、市の予算に従い予算の範囲で業務を達成した。使用料収入は目標を達成することができなかったが、利用件数の減少と減免件数の状況によるものと思われる。</p>
	長期的な視点にたった施設・設備の保守点検度	公演に支障をきたす設備故障件数。劣災事故件数。	1件 (スプリンクラー故障)	C	
市民	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立（消防訓練2回）	消防訓練2回	B	<p>施設の管理については、法律に従い保守点検、衛生管理を行っており、危機管理の観点からも防火・防災訓練を行っている。</p> <p>毎年、改修の要求をしているところだが、スプリンクラー設備が配管の老朽化による漏水で故障し、市と連携をとりながら復旧に努めたが、1月28日の貸館・公演に若干の支障をきたすことになった。</p> <p>当館は昭和52年の建設から40年を経過し、施設・設備とも老朽化が進んでいる。今後も改修工事計画について市に要求していきたい。</p>
	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底（講習会1回）	11/13	B	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	

業 務	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	A
	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	市と定期的なミーティングを行っており、運営方針を踏まえながら、経費節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B
	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり研修が実施されている。 3/29~30 また、情報の流出を防ぐ観点からUSB等外部機器の接続を登録制にし、メールにおいては、個人情報の添付を規制している。	B
	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施（1回）	コンプライアンス研修の実施 2/8	B
人 材	専門性の高い人材の配置、育成	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること 地域創造ユニット(C-1-③)	公文協研修会	A
	職員のスキルとモチベーションの向上	4段階評価（※2）を行い、3段階以上にあること（戦略・評価ユニットNO. C-1-④）	財団職員研修会	A
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準違反に関する事例はなかった。	A

総合評価（所見）

ホールの稼働率は目標値をクリアできたが、利用者数、使用料収入については目標値を下回った。目標値を下回った原因として、同規模会館が相次いで開館（H22北区文化会館・H23東区市民プラザ・H24江南区・H25秋葉区文化会館）したことによる影響のほか、高齢化により定期利用団体も漸減している影響もあると思われる。また、7・8月に、芸文工事にかかる停電・制御システム切替のための臨時休館が14日間あったこと、1月に大雪と大寒波による使用中止が41件発生したことも影響している。すべての目標達成は厳しい状況であるが、PRの強化や運用面の改善などを図り目標達成の努力をしていきたい。

毎年、改修の要求を出していたが、スプリンクラー設備の故障で貸館・公演に支障があったことから、さらに注意して施設の点検を行うとともに、老朽化している施設の改修工事計画について市に要求していきたい。

- ※1 評価指数が数値である項目については、以下の3段階で評価した。
- A 要求水準(評価指数)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 - B 要求水準(評価指数)が達成されている。
 - C 要求水準(評価指数)が達成されていない。

- ※2 数値で表しにくい項目については、財団法人地域創造が作成した「公立ホール・公立劇場の評価指針」の戦略・評価ユニットを基に評価指標を設定し以下のとおり4段階で評価した。
- イ 持続とさらなる向上が期待される。 → A
 - ロ ステップアップが望まれる。 → B
 - ハ 見直しが必要である。 → C
 - ニ 抜本的な見直しが必要である。 → D

- ※3 この項目（事業系）については、公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団が一体管理している市民芸術文化会館が主体となり、併せて評価していますので、ここでの評価は行っていません。

29年度委託契約（施設管理）

入札：入札 随契：見積り合せ 一者：一者随契

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 警備（機械）	セコム上信越(株)	一者	セコム上信越(株)	一者
② 警備（常駐）	NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約)	入札	NKS・セコムジャスティック・きらめき共同企業体 (複数年契約)	入札
③ 設備運転管理				
④ 清掃業務	環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約)	入札	環境をサポートする(株)きらめき・新潟県ビル管理共同組合・(株)不二ビルサービス共同企業体 (複数年契約)	入札
⑤ 窓ガラス清掃業務	中央管財(株)	入札	中央管財(株)	入札
⑥ 廃棄物処理	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑦ 水質検査	(株)県都食品環境分析センター (株)江東微生物研究所	随意	(株)県都食品環境分析センター (株)江東微生物研究所	随意
⑧ 空気環境測定	新潟交友事業(株)	随意	新潟交友事業(株)	随意
⑨ ねずみ等生息調査	(株)アート	随意	(株)アート	随意
⑩ 水槽清掃	(株)企業水処理サービス	随意	(株)企業水処理サービス	随意
⑪ ばい煙測定	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意	(一財)新潟県環境衛生研究所	随意
⑫ 駐車場管理	(社)新潟市シルバー人材センター	一者	—	—
2 保守点検				
① 電気設備	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札	(一財)東北電気保安協会新潟事業本部	入札
② 直流電源装置	自主管理	—		
③ 自家発電設備	北越機電工業(株)	随意	昱工業(株)	一者
④ 冷温水発生機	荏原冷熱システム(株)新潟営業所	一者	菱機工業(株)	一者
⑤ 空調設備	ダイダン(株)新潟支店	入札	上期：ダイダン(株)新潟支店 下期：ダイダン(株)新潟支店	随意
⑥ 排煙設備	ダイダン(株)新潟支店	入札		
⑦ 冷却塔	轟産業(株)新潟支店	随意		
⑧ 自動制御装置	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者	アズビル(株)ビルシステムカンパニー	一者
⑨ ボイラー貯湯タンク	渡辺建設(株)	随意	—	—
⑩ エレベーター設備	(株)日立ビルシステム関越支社	一者	(株)日立ビルシステム関越支社	一者
⑪ オーニング設備	三精テクノロジーズ(株)東京支店	一者	—	—
⑫ ゴンドラ設備	日本ビソー(株)本設ゴンドラ東京支店	一者	—	—
⑬ 自動ドア	(株)新潟ナブコ	一者	新潟寺岡オートドア(株)（1F） (株)新潟ナブコ（2F）	一者
⑭ 防災設備（機械）	星防災設備(株)	随意	星防災設備(株)	随意
⑭-2 防災設備（電気）	(株)興電社	入札	(株)興電社	入札
⑮ 植栽	グリーン産業(株)	入札	グリーン産業(株)	入札
⑯ 上水滅菌装置	新潟オーヤラックス販売(株)	一者	—	—
⑰ シャッター	(株)LIXIL 鈴木シャッター新潟営業所	一者	三和シャッター工業(株)新潟センター	一者
⑱ 空気清浄機	ミドリ安全新潟(株)	一者	—	—
⑲ 排煙窓	小竹金物(株)新潟営業所	一者	—	—
⑳ 客席椅子	愛知(株)東京本部	一者	(清掃業務に含む)	入札

29年度委託契約（舞台技術）

入札：入札 随契：見積り合せ 一者：一者随契

※：未実施

囲い：契約一本化

業務内容	市民芸術文化会館		音楽文化会館	
	委託先	契約	委託先	契約
1 人的派遣				
① 舞台技術管理運営	新潟照明技研(株)	一者	新潟照明技研(株)	一者

2 保守点検				
① 舞台機構設備	—	※	森平舞台機構(株)	一者
② 舞台音響設備	パナソニック システムソリューションズジャパン(株)関 越社	一者	ヤマハサウンドシステム(株)	一者
③ 舞台照明設備	丸茂電機(株)	一者	東芝エルティ エンジニアリング(株)首都圏営業所	一者
④ 映像記録設備	—	※	—	—
⑤ パイプオルガン	グレンツィング社	一者	—	—
	木村オルガン工房	一者	—	—
⑥ ピアノ	(有)美輝楽器工房	随	(有)美輝楽器工房	随
	いわもと楽器サービス	一者	渡辺ピアノ調律所	一者
	ヤマハミュージックリテイリング 新潟店	一者	(株)松尾楽器商会	一者
	(株)わたじん新潟店	一者	ヤマハミュージックリテイリング 新潟店	一者
⑦ チェンバロ	モモセ・ハーブシコード	一者	今井ピアノ調律所	一者
⑧ ポジティブオルガン	マルク・ガルニエ・オルグ・ジャポン	一者	—	—

新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館 平成29年度 収支決算書

	科 目	決 算 額 (千円)	備 考
収 入	新潟市民芸術文化会館	1,165,191	
	市が支払う経費	742,459	指定管理料・補助金
	事業収入	321,382	入場料収入等
	付帯事業収入	31,548	飲食施設売上等
	その他	69,802	文化庁補助金等
	新潟市音楽文化会館	131,357	
	市が支払う経費	128,399	指定管理料
	付帯事業収入	2,839	飲食施設売上等
	その他	119	
		合 計	1,296,548

	科 目	決 算 額 (千円)	備 考
支 出	新潟市民芸術文化会館	1,165,191	
	文化事業費	530,158	
	音楽事業	172,532	東響定期演奏会等
	演劇事業	174,845	ふるまち新潟をどり等
	能楽事業	27,773	春・秋能楽鑑賞会等
	舞踊事業	109,388	Noism
	その他	45,620	広報宣伝、調査研究等
	施設管理受託事業費	603,485	
	人件費	277,049	
	サービス業務運営費	20,568	レセプションист等
	光熱水費	89,274	
	委託料	141,597	清掃、警備、設備点検等
	維持補修費	60,529	
	OA関係費	7,054	
	その他	7,414	広報宣伝、職員研修等
	付帯事業費	31,548	飲食施設運営費等
	新潟市音楽文化会館	131,357	
	施設管理受託事業費	128,518	
	人件費	43,819	
	光熱水費	23,770	
委託料	47,384	清掃、警備、設備点検等	
維持補修費	6,875		
その他	6,670	事務費等	
付帯事業費	2,839	飲食施設運営費等	
	合 計	1,296,548	